

柳生新陰流兵法演武・体験会

2023 12月3日(日)

(主催) 三條かの記念館
(後援) 米沢恒武館

公開稽古 9:10~10:30

演武会 11:00~11:30

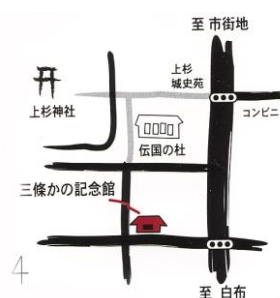
体験会 11:30~12:00

(解説) 柳生新陰流兵法第22世宗家
柳生耕一平巖信
やぎゅうこういち・たいらとしのぶ

(演武) 柳生会

会場 三條かの記念館
米沢市城南1-5-27
TEL 0238-23-3334

入場料 無料



- ・公開稽古 柳生会の皆さんの稽古をご覧になれます。
- ・演武会 柳生耕一氏の解説で柳生会の皆さんによる形の演武があります。
- ・体験会 体験希望者は 運動できる服装 か 稽古着 でお越しください。

460年の歴史ある 柳生新陰流兵法 の神髄を体感していただけます。

新陰流と米沢

戦国時代、上州(群馬県)の上泉伊勢守信綱は多くの流派の習得と度重なる戦から新陰流を創出した。上泉信綱は剣聖ともいわれ、多くの武芸者を指導したが、特に大和(奈良県)の柳生石舟斎宗巖を後継者として認め、1565年にすべてを相伝した。

その後、柳生家は江戸と尾張に分かれて徳川家の剣術指南役となるが、尾張の柳生家は石舟斎の孫・柳生兵庫助利巖が尾張徳川家の剣術指南役となってから流祖以来の教えを代々大切に発展的に守り伝え、柳生新陰流兵法として今日に至る。

上泉信綱の孫・上泉主水泰綱は上杉家に仕官して上杉景勝の家臣となり上州から米沢に移り住んだ。泰綱は1600年の最上軍との戦で憤死したが、その後の家系は現当主 上泉一治氏まで続いている。

新陰流の師弟関係にあった上泉家と柳生家は長年の念願が叶い、1999年に上泉一治氏と21世宗家 柳生延春氏は名古屋で対面。両家は戦国時代に出会ってから実に435年ぶりとなる歴史的な再会となった。同年に三條かの記念館で「再会の儀」が行われ、柳生氏の記念講演や柳生会の演武会が行われた。

以来、毎年のように米沢で柳生会の合宿が行われ今回で19回目となる。